



Title	日本語・日本文化 第28号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2002, 28
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/20954
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

執筆者紹介 (掲載順)

中田 一志	本センター助教授
澤西 稔子	本センター非常勤講師
宮瀬 真理	本センター非常勤講師
廣内 裕子	本センター非常勤講師
西岡 美樹	本センター非常勤講師
岸本 恵実	本センター助手

編集後記

2001年4月、懸案であった教授会が無事発足した。委員会組織も人事・総務・学務の三委員会に統合され、本誌の編集を担当してきた学術出版委員会に代わって、今年度からは総務委員会の委嘱を受けた5名の教官が、その任に当たることとなった。

さて、本号では、研究論文3点、研究ノート2点、研究報告1点の計6論稿を掲載することができた。内、証券用語を専門用語分析のケーススタディとして取り上げ、複合語の語構成に焦点をあて考察を加えた中田論文、キリシタン版『羅葡日対訳辞書』諸本について、その書き入れの異同を明らかにした岸本報告、これらはいずれも科学研究費補助金による研究成果の一部である。こういった助成研究の成果報告の場として活用されることは、質の向上を常に希求する本誌にとって一つの望ましい姿であろう。また、廣内ノートは日豪の親子関係に見られる間接不満表現を語用論的立場から分析する英文の研究ノートである。海外への発信の重要性が再認識される昨今、本誌としても英語等による投稿を歓迎する次第である。

(A.K)

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センター所属教官（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
 2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
 3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
 4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
 5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。
-

編集委員

小林明美	生森将人	山本 進
水田明男	加藤 均	

日本語・日本文化 第28号

2002年3月29日 発行

編 集	大阪外国語大学
発 行	留学生日本語教育センター 〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1 電話 (0727) 30-5459 FAX (0727) 30-5074
印 刷	中西印刷株式会社